

事務事業名	高齢者見守りネットワーク事業	事務事業No.	10604000014	所属課	高齢福祉課
<p>(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成22年国勢調査では65歳以上の高齢者がいる世帯は7,691世帯で、総世帯数の56.5%を占めていた。事業開始した平成24年は桜川市の高齢化率は25.14%で将来推計において高齢化が進む見込みであった。そのため今後、高齢者の孤独死、行方不明等が心配されることから、安否を見守るため本事業を開始した。 令和2年の国勢調査では高齢者を含む世帯は世帯総数の62.4%にあたる8,362世帯は高齢者がいる状況であり10年前と比べると更に5.9ポイント増加している。</p>					
<p>(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 広報やホームページ等で高齢者見守りネットワーク事業を知った民間業者から協力を望む声が寄せられている。</p>					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	<p>① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 結びついている</p> <p>日頃の活動や業務の中で高齢者を見守り、早期に異変に気づき対応することで、孤独死等の発見につながり、高齢者福祉の推進に結びつく。</p>
	<p>② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 妥当である</p> <p>地域や市内外の事業所でネットワークを構成し、高齢者の見守りに取り組むことから、市で行うことは妥当である。</p>
	<p>③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある</p> <p>本来成果を見る事業ではないが、協力事業所を増やし、情報交換を密にすることで成果に結びつく余地はある。事業所側からの通報だけではなく行方不明高齢者等の情報を事業所へ提供することにより安否が確認できるなど向上の余地はある。</p>
有効性	<p>④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 影響有</p> <p>高齢者が安心して地域で生活を送れなくなり、高齢者の安否確認ができなくなってしまう。</p>
	<p>⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 余地がない</p> <p>令和7年度から、高齢者が徘徊などによって行方不明になった場合の早期発見及び保護につなげるよう、協力事業者あてに情報提供を行うよう要綱を改正した。</p>
効率性	<p>⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない</p> <p>市内外の事業所による善意で事業が実施されているため、削減余地はない。</p>
公平性	<p>⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である</p> <p>市内の不特定多数の高齢者を見守る事業であるため受益者は公平・公正である。</p>

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果</p> <p>①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>		<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>新規3事業所と締結をし、見守る体制を強化した。高齢者の異変に関する情報提供が計9件あり、素早く安否確認を行うことができた。令和7年度から、高齢者の行方不明者が生じた際に捜索協力を依頼できるよう要綱を改正した。</p>																											
<p>(3) 今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止</p> <p>(複数回答可)</p> <p><input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる</p>		<p>(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持			○						低下								
成果	向上	コスト																											
		削減	維持	増加																									
維持			○																										
低下																													
<p>(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>協力事業所の今後の意向確認と最新の情報の把握、情報提供の送付先の確認を行い、協力体制を構築すること。</p>		<p>(6) 事務事業優先度評価結果</p> <p>成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ②</p>																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

<p>(1) 課長評価</p> <p>課長確認後の評価</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出</p>		<p>(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)</p> <p>確認欄 <input type="checkbox"/></p>	
---	--	---	--